

令和6年度 第1回羽黒地域振興懇談会 会議概要

- 1 日 時 令和7年3月 19日(水)午後3時 00 分～午後5時 00 分
- 2 場 所 鶴岡市役所羽黒庁舎 2階会議室
- 3 出席者 委員 百瀬清昭委員、丸山三喜男委員、堀誠委員、加藤省二委員、土岐彰委員、
小南孝子委員、三浦美津子委員、齋藤一志委員、鈴木静香委員、工藤重美委員
羽黒庁舎支所長 佐藤正直、総務企画課長 成沢結花、市民福祉課長 山口えみ、
産業建設課長 板垣誠、総務企画課長補佐 成澤紀美
総務企画課主任 山本務
本所 地域振興課主査 渡部久美子
- 4 会議次第
 1. 開 会
 2. あいさつ 百瀬会長
 3. 報告
(1) 令和6年度第1回羽黒地域振興懇談会での意見の対応方針について
 4. 意見交換
(1) 第2次鶴岡市総合計画後期基本計画における羽黒地域の施策の成果指標(KPI)の検証について
(2) 令和7年度 羽黒庁舎主要事業について
 5. その他
 6. 閉会
- 5 会議資料
 - ・【資料 1】令和6年度第1回羽黒地域振興懇談会での意見への対応方針について
 - ・【資料 2-1】第2次鶴岡市総合計画後期基本計画における羽黒地域の施策の成果指標(KPI)の検証について【観光】
 - ・【資料 2-2】第2次鶴岡市総合計画後期基本計画における羽黒地域の施策の成果指標(KPI)の検証について【農業】
 - ・【資料 2-3】第2次鶴岡市総合計画後期基本計画における羽黒地域の施策の成果指標(KPI)の検証について【コミュニティ】
 - ・【資料 3】令和7年度 羽黒庁舎主要事業について(まちづくり未来事業)

3 報告

- (1) 令和6年度第1回羽黒地域振興懇談会での意見の対応方針について
(総務企画課長、産業建設課長説明)

委員より意見・質問

【会長】

ハザードマップの見直しはいつ頃になるのか。何時災害が起こるか分からないので早く行ってもらいたい。

【総務企画課長】

市全体の見直しが必要であり、羽黒だけというわけにもいかず、すぐに見直しはならない。
ハザードマップの見直しの計画は今のところはない。

【委員】

3番で情報発信を行っていくと言っていたが、どのような情報をどう発信していくのか。

【総務企画課長】

具体的には決まっていない。
区長会等で災害に際しての準備とか、防災訓練が羽黒全域であるので、そういったところで普段の備えと
というようなことを周知していきたい。

4 意見交換

- (1) 第2次鶴岡市総合計画後期基本計画における羽黒地域の施策の成果指標(KPI)の検証について
(総務企画課長、産業建設課長説明)

委員より意見・質問

【委員】

観光についてだが、成果指標の基準は何をもって1,000,000人としているのか。
今後の取り組みの細部が分かればよい。

【委員】

先ほど分析していた通りだと思う。
7月の大雨で羽黒については被害の大きいものは無かったが、県道47号線と羽越本線が止まり、個人、
団体、どちらも来られなくなり、夏山についてはピークの時期を失ってしまったのが大きかった。
月山の弥陀ヶ原ガイド事業について、軒並みキャンセルだった。
観光は天候に左右され毎年キープできるものではないが、外国人の観光客数はほぼ同じである。
地道にPRや集客をしていけば成果に現れると思う。
宿坊も減り、食事施設も少ない、駐車場も限られている現状では、夏に今の2倍は観光協会では厳しいと
考えている。通年で2倍なら商売的には良い。
それぞれの受け入れ人数を超える分については、ストップをかけることも考えなければいけない。

お客様の満足度を考えても程良い観光客数が大事。

再来年度加茂水族館がリニューアルするが、そこを見込んで鶴岡をターゲットとした JR がプロモーションを、JTB が三県をまたいだプロモーションを、そこに出羽三山の午年御縁年があり、期待する半面、恐々としているところがある。そこが見定める良い指標になるのでは。

【委員】

通年で2倍は理想だが、来るときに一斉に来るのが普通。
宿坊もそうだが、お昼の提供や宿泊の提供ができるのか。
羽黒にはちょっと食べるというようなところがない。

【委員】

松ヶ岡のような小さい観光地は人がいっぱい来たからと言って関係がない。
観光は食も楽しみだが、松ヶ岡にはそれもない。
必要だという話にはなるがやるという人がいない。

【委員】

手向は別だが、泉より下は観光に携わって来なかった。観光地という意識がない。
飲食店がなくなった。住んでいる人たちがお金を落とさなくなったというのもあるかもしれない。

【委員】

バスが止まったり電車が止まったりする状況が、自分で情報を取りに行かないと入ってこない。
主要な交通網が止まった時の連絡網があると良い。
AED の設置の強化を。
以前は自整協という団体に設置していたが、予算的に厳しくなり手放してしまった。

【委員】

AED がどこにあるか普通はわからない。AED のマップを。
AED 設置の助成を。
年間5万くらいの予算でセコムが設置できる。

【総務企画課長】

それはセコムに加入している方へのオプションサービスで購入はまた別。
購入に30万ぐらい。

【総務企画課課長補佐】

一時金を貰って購入し導入してもランニングコストがかかる。

【委員】

観光は良くわからないが、食事ということであれば、子育て世代は市内に行く。
湯の浜のキャンプ場は行くと温泉の無料券がもらえるが、羽黒のキャンプ場は有料である。無料で入浴出

来れば。

【委員】

農業について、小麦は順調。

年内に小麦の製粉工場を建てる予定。

ラーメンに合うようなのを作ってくれと言われている。

面積も増やす予定。現在 40ha。軌道に乗れば山の畑が余っているので、いくらでも増やせる気がする。

様々なやり方でやろうと、自分の家にある機械でやるというのもテストしている。

効率が悪く、発種機だけ共同で購入している。

大麦を作付けすればビールもできると思う。

小麦は年 1 回。9 月 20 日頃種まきをし、6 月末から 7 月収穫。

大麦なら 1 ヶ月くらい早く収穫できるからビールは楽ではないか。

【会長】

たい肥については、機械の調子が悪いのか。

【産業建設課長】

たい肥センターの設備をきちんと整備していきましょうという話である。

【委員】

臭いがするという苦情があったのではなかったか。

【産業建設課長】

以前より、臭気がするという苦情があり、今年度は壁や排気口に穴が開いている箇所の修繕を行い、直接庁舎に臭気の苦情はないようだ。ただ、現在モニター制度を取っており、モニターの方からはたまに臭気があると話をいただいている。

【委員】

あのたい肥センターは作った当時から好気性発酵を拒否するような設計になっている。

地元の説明に行ったところ、好気性発酵に理解を得られず、開いている所を全て塞げと言われ、現在の状態になった。

環境保全型農業直接支払交付金がたい肥を散布するだけで助成対象だったのが、プラス α になるので、利用者が減ってくる。

異常気象の中での安定性の話をする等、アピールしてほしい。

【産業建設課長】

いろいろと試行錯誤してきた経緯はあるようだ。

現在は、ブロワーを使っていないので、なるべく通風機を回して空気を入れようとしている。それで好気性発酵を促し、空気は上の方から逃がす形である。上からのものは薬剤で脱臭している。

【会長】

散布組織もセットでやっているところだから、非常に良い取り組みだと思ってきている。
扱うものがものなので、老朽化してくればきちんとメンテナンスしてよろしく願いたい。

【委員】

コミュニティについて、子供たちは少ないが活発だ。活発だが少ないため、他と一緒にいるため、利用件数は変わらないが、利用者数は減っている現状だ。
イベント等開催して活動センターの利用者数を増やそうとしているのでよろしく願います。

【委員】

子供の活動に対する協賛の窓口を作り、応援できる仕組みがあればよい。

【委員】

うちの地域は6集落しか無いが、ほかの地域のスポ少の子供が利用に来ているようだ。
ホームページ等で空き状況を確認できるようにすれば良い。
楽しくないと続かないので、活動の後に食事会等を行うなど、そのままの人数で続けられれば。

【委員】

泉地区地域活動センターとコミュニティセンターについていろいろ話が出ているが、周辺の土地の活用も併せて、グランドゴルフ場という意見もあった。
防災に関して、避難所が板の間にシート若しくは椅子で辛い。
簡易トイレ、簡易ベッドの環境を整えてほしい。

【委員】

コミセンは市の施設なのでどうなるか分からないが、泉地区地域活動センターは我々の施設なので、市の計画に乗ったということで安心している。
ただ、グランドも残してほしいという要望がたくさんある。体育施設もそうだ。我々も要望し続けていく。

【総務企画課長】

泉地区地域活動センターと羽黒コミュニティセンターの整備事業ということで、2つの施設の機能を集約し一元化することで、施設の総量の適正事と維持管理コストの削減を図り、利便性の向上と利用者の増加を図るということで、泉地区地域活動センターの建て替えに合わせ、コミセンの一部機能を持った施設とするという前提で、令和7年度は整備の基本構想を策定する予定でいる。整備構想の策定には、地域の代表者やこれから利用する若者世代の方から委員を選出し、泉地区活動センターの再整備検討の要望書とニーズを基に、機能や規模を7年度中に構想を検討するという流れになっている。
コミセンの必要な機能を泉地区地域活動センターに移すという形になるので、コミセン自体は不要になるので、跡地自体どうするか検討することになる。
2つは建てられないので、泉地区地域活動センターを2つの機能を併せ持った建物にしていきたいと考え

ている。

福祉センターは福祉センターで別であるし、一部改築の補助金が残っていることもあり解体もできない状況である。

【委員】

防災無線が外にいる人に対する注意喚起用だというのは知っているが、どこかに電話すれば内容を把握できるというサービスはあるか。

【支所長】

消防の関係に関しては案内ダイヤルがあるようだが、残念ながら防災関係の仕組みはない。市としても課題は十分認識しており、今後何らかの対応をと検討している。

(2) 令和7年度 羽黒庁舎主要事業について

(総務企画課長、市民福祉課長、産業建設課長説明)

委員より意見・質問

【委員】

大鳥居周辺花いっぱい事業は道路沿いの植栽ということか。
時々話題になるのが県道沿いの雑草の件である。一番景観の良いところなので気になる。

【産業建設課長】

交差点の道路島のところである。
県道なので県管理となるが、庁舎の方から庄内総合支庁に要望する。

【会長】

羽黒地域ふらっといっぽ事業は、年齢構成はどうなっているか。
羽黒地域全体の対象者は把握しているか。
農作業など良いのではないか。

【市民福祉課長】

昨年度は30代から60代までだった。中学生もいたがキャンセルになった。
なかなか難しい事業である。
対象者は78件。
いずれも2つ3つの要因が重なっている方が8割。
農福連携できれば良いが、慣れていないので遅く、少しずつと考えている。

【委員】

羽黒地域のおしごとみ〜つけた事業だが、夏休みにやっていたが連絡が遅かった。

【総務企画課長】

7年度はもっと早く声掛けをし、自治振興会とも連携しながら進めていきたいと考えている。

【委員】

ひまわり畑だが、石を砕くのをやめたほうが良い。

強酸性土壌のため、苦土石灰か何かを大量に撒いたほうが早い。

たい肥はアルカリ性だから、たい肥の大量散布をやめたから症状が出たのだと思う。

土壌改良剤を大量投入した方が良い。土壌改良すれば大丈夫だと思う。

【委員】

広瀬さ行ってみっがプロジェクト支援事業は魅力的で今後楽しみ。

戻ってしまうが、コミュニティの部分で、知り合いが e スポーツを取り入れた事業をやっており、子供たちが好きなことのため、そういった取り組みも良いと思った。

室内スポーツが体育館を取れない状況である。子供たちの好きがどこにあるか探って事業がうまくいけばよいと思う。

【委員】

事業全体で予算はいくらか。

他の地域と比べて羽黒は少ないので、かけるべきところに予算を集中した方が良い。

【総務企画課長】

1,400 万である。

【支所長】

未来事業だけ見るとそう見えるが、昨年まで未来事業でやっていたものを別事業に移行したりしており、それが 1,000 万くらい。一概に未来事業だけで判断することはできない。

以上。